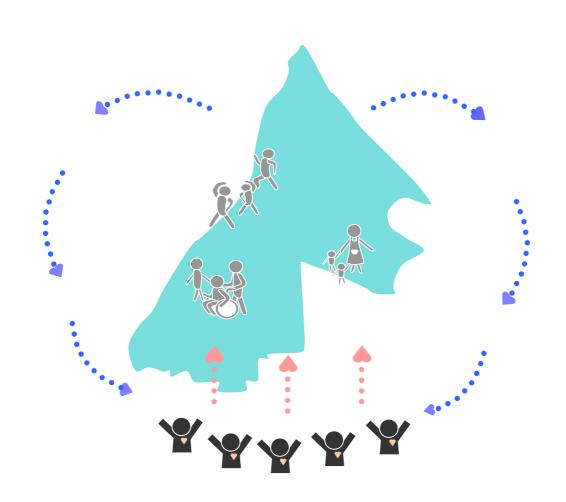
令和5年度

「すみだの力応援助成事業」「すみだの夢応援助成事業」

実施報告会

プログラム



令和6年5月19日(日)午前9時~ 墨田区役所13階 131会議室 墨田区 地域力支援部 地域活動推進課

目 次

はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
プログラム	
実施報告会スケジュール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
実施報告会の方法(ルール) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
令和 5 年度「すみだの力応援助成事業」一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
令和 5 年度「すみだの夢応援助成事業」一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
すみだの力応援基金 令和5年度 運用状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6

はじめに

墨田区では、地域の課題解決に向けて、区民の皆さんと区が、ともに考え、ともに行動する「協治(ガバナンス)によるまちづくり」を推進しています。そのような中、平成24年3月、「墨田区協治(ガバナンス)まちづくり推進基金条例」を制定し、この条例に基づき、同年4月、「すみだの力応援基金(協治(ガバナンス)まちづくり推進基金)」を設置しました。

「すみだの力応援基金」は、皆さんからの寄付等を財源として積み立て、区民等が自主的・主体的に取り組むまちづくり活動を資金面から支援するものです。基金が設置された平成24年4月からの12年間、総額約2,781万円の寄付を皆さんからお預かりし、当基金に積み立て、「すみだの力応援助成事業」として様々な団体への支援を行ってきました。

また、平成29年度から当基金を活用した新たな助成の枠組みとして「すみだの夢応援助成事業」を開始しました。応援するプロジェクトを指定して寄付することができるクラウドファンディング型の助成事業で、令和5年度までの7年間で総額約3億1,228万円の寄付が集まりました。

さて、本日の実施報告会は、令和5年度に「すみだの力応援基金」を活用し、事業を実施した団体の皆さんから、その取り組みについてご報告していただき、活動成果を確認するものです。皆さんからの寄付を原資とする「すみだの力応援助成事業」及び「すみだの夢応援助成事業」を通じて、区民同士の支えあいによる地域社会の実現を目指すなど、「協治(ガバナンス)によるまちづくり」の一層の促進を図ることとします。

------ プログラム------

実施報告会スケジュール

開始時間	団体名	事業名		
9:00~	報告会開会(挨拶・説明)			
	すみだの力応援助成事業			
9:05~	一般社団法人 SSK	立花一丁目団地みちあそび		
9:18~	特定非営利活動法人 寺島・玉ノ井まち づくり協議会	すみだの江戸野菜・寺島なすを広めたい 第2回「寺島なす 祭り」の開催事業		
9:31~	すみだ未来枠	新・すみっこ探検隊!		
	すみだの夢応援	助成事業		
9:44~	特定非営利活動法人 声とことばの力	シニア・こども・大学生 様々な世代をつなぐ 日常的な多世代交流の場を創生する ~SUMIDA こども未来応援団プロジェクト~		
9:56~	9:56~ 休憩			
10:05~	公益財団法人 新日本フィルハーモニー 交響楽団	新日本フィル「音楽の力で人とまちを元気に」 プロジェクト		
10:18~	特定非営利活動法人 Chance For All	こどもたちが自分の意思で選べるあそび場を 墨田区に		
10:31 ~	一般社団法人 つながる橘	「北斎も食べた!?」大江戸健康総菜キッチンを創ろう!		
10:44 ~	一般社団法人 SSJF	~両国エリアをもっともっともりあげたい~ 2023 両国ランブリングアベニュー		
10:56 頃	10:56 頃 閉会			

各団体による実施報告の開始時間は、プログラム進行の都合上、前後する場合がありますので、予めご了承ください。

実施報告会の方法 (ルール)

- (1) 実施報告を行う人数は、各団体3名以内とします。
- (2)1団体の発表は5分以内とします。助成事業の内容を中心にご報告ください。 発表時間は厳守してください。
- (3)報告終了後、協治(ガバナンス)まちづくり推進基金審査会委員による質疑を7分程度行いますので、要点を簡潔にお答えください。
- (4)報告中における入退室は自由とします。
- (5) 傍聴者の発言など、審査に影響を及ぼす意思表示は認められません。

令和5年度「すみだの力応援助成事業」一覧

ステップアップ応援コース (事業の概要は各団体の事業実施報告書の内容より抜粋)

	【団体名】事業名	助成金額
1	【一般社団法人 SSK 】 立花一丁目団地みちあそび	500,000円
	あそびあふれる社会をつくることを目的に、立花一丁目団地の通路で月1回程度みちあそびを 実施しました。プレイカー「からふる号」への落書きや、昔遊び、ボードゲーム、大型遊具、廃 材ビー玉転がし、スポーツレクリエーションなどの多様な遊びを通じて、地域住民が自然に交流 し顔の見える関係が生まれ、子どもを中心とした地域コミュニティの強化につながりました。	
2	【特定非営利活動法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会】 すみだの江戸野菜・寺島なすを広めたい 第2回「寺島なす 祭り」の開催事業	450,000 円
	区内飲食店に開発・提供してもらった寺島なすメニューを来場者に食べ比べていただき、投票でグランプリを決めるコンテストを開催しました。参加飲食店と生産者との仲介を行うことで今後の寺島なす普及につながる関係性の強化を狙いました。その他、グッズ販売、江戸野菜の講演会、寺島なすをバトンにした「青果リレー」も行い、来場者に寺島なすの魅力を PR しました。	
3	【 すみだ未来枠 】 新・すみっこ探検隊!	500,000 円
	親子参画と地域愛着形成を目的に、小学生親子を対象とした事業を展開しました。区内をまちあるきする謎解きイベントでは、地域の魅力や歴史に関する問題を取り入れ、街にあるマークを探す等の景色を見てもらう工夫も行いました。また、折り紙や3Dプリンターを使用したワークショップを計3回実施し、墨田区のものづくりの文化に触れる機会を提供しました。	

令和5年度「すみだの夢応援助成事業」一覧

	【団体名】事業名	助成金額	
	【特定非営利活動法人 声とことばの力】 シニア・こども・大学生 様々な世代をつなぐ日常的な多世代 交流の場を創生する~SUMIDAこども未来応援団プロジェクト~	1,036,000円	
1	少子高齢化に伴う課題をシニアとこどもの両面から解決する目的で、地域の児童館における日常的なシニアとこどもの交流の場の継続運営に加え、大学生の企画運営によるシニアとこどもの交流イベントを定期的に実施しました。また、シニアとこどもの橋渡し役となる「未来プレゼンター」の育成に向けたワークショップや、PR 動画の作成・発信も行いました。		

	【団体名】事業名	助成金額	
	【公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団】 新日本フィル「音楽の力で人とまちを元気に」プロジェクト	53,512,890円()	
2	昨年に引き続き、普段気軽にホールへ足を運べない方(福祉施設利用者、中高生等)への 演奏会無料招待や、まちかど出張コンサートの開催、年長児対象のワークショップなど、区 内外の人たちに本格的な音楽に触れる機会を提供しました。また、向嶋墨堤組合と共同開催 で「見番コンサート」を実施し、向嶋花街の文化との融合という初の試みにも挑戦しました。		
	【特定非営利活動法人 Chance For AII】 こどもたちが自分の意思で選べるあそび場を墨田区に	4,090,958 円	
3	墨田区の町工場から使わなくなった素材を集め、こどもが自由に試行錯誤して工作等に取り組める「あそび大学」を毎月開催しました。夏休みには特別企画として、企画からこどもたちと一緒に作り上げた「こどもの国」を一週間に渡って開催し、こども自ら起業、納税、選挙を行い、予算の使い道を考える等、自分の意思で選び実践する機会を提供しました。		
4	【一般社団法人 つながる橘】 「北斎も食べた!?」大江戸健康総菜キッチンを創ろう!	352,000 円	
	キラキラ橘商店街の長屋にコワーキングスペースとシェアキッチンを整備し、商店街の商品やサービス等を普及・発信する拠点を作りました。シェアキッチンでは、健康食材である江戸時代の料理の再現・普及を目指して豆腐料理の料理教室を開催し、新たな健康総菜の開発に取り組んだ結果、柚子味噌田楽をアレンジした「たちばな田楽」が生まれました。		
5	【一般社団法人 SSJF】 ~両国エリアをもっともっともりあげたい~ 2023 両国ランブリングアベニュー	844,000 円	
	まだ知られていない両国の新たな魅力を発見し、そこに住む人や訪れる人が生き生きと交流できる場所を作るため、両国駅北側エリアを回遊しながら音楽を楽しめるイベントを開催しました。屋外ではキッチンカー、パレード、飛び入り参加可能なオープンマイクイベントを、施設内ではイベントトークやワークショップ、音楽ライブなどを行いました。		

当初申請した目標額を超えた場合、すみだの夢応援助成金交付要綱第 6 条第 2 項の規定により、超えた分の額に 100 分の 10 を乗じて得た額に消費税及び地方消費税を付加した額を差し引き、助成金を交付している。

すみだの力応援基金 令和5年度 運用状況

年度	積立・助成		
	令和 4 年度末 基金残高		9,730,886 円
	積立 処分	利子	2,284 円
		寄付(155 件)	3,129,327円
		(基金への寄付)	(うち2,905,265円を積立)
		寄付(420件)	62,135,200円
令和 5 年度		(プロジェクト指定寄付)	
マ和サーク		すみだの力応援助成	1,450,000円
		(3団体)	
		すみだの夢応援助成	59,835,848 円
		(5団体)	
		すみだの夢 GCF	2,299,352 円
		目標額超過分手数料	_,,
令和 5 年度末 基金残高			11,188,435 円

すみだの力応援基金 令和5年度寄付者の皆さま (五十音順)

アサヒ飲料株式会社 様 株式会社フクシ・エンタープライズ 様

アサヒ飲料販売株式会社 墨田支店 様 サントリーフーズ株式会社 様

東信用組合様福井寿江様

大清水 善信 様 マークフロントタワー曳舟管理組合 様

岡田 旬佑 様 有限会社坂井鍍金工業所 様

岡部株式会社 様 有限会社島牛乳店 様

株式会社ジェイコム東京すみだ台東局 様 有限会社山二商會 様

株式会社ダイエー 様

株式会社八洋 様 外 匿名 2名 様、 8団体 様

5 名・2 1 団体(延べ 155 件)の皆様から 3,129,327 円のご寄付をいただきました。 誠にありがとうございました。

令和5年度 「すみだの力応援助成事業」「すみだの夢応援助成事業」 実施報告会

発行 墨田区

令和6年5月